

2021年5月 日

〇〇市長 △△△△△様

(北総線沿線6市長宛)

北総線の運賃値下げを実現する会 会長 太田 誠

## 北総鉄道株主総会での株主発言のお願い

長引く新型コロナウイルス感染、ワクチン接種対応に連日ご奮闘のこととお察しいたします。ご努力に敬意を表します。

さて、来る6月下旬に予定されております、北総鉄道株主総会におきまして、北総線沿線住民の声を代弁して、株主としてご発言いただきたく、お願いいたします。

北総線の高運賃が住民生活を苦しめ、沿線の発展にとって大きな阻害要因となっているのは申すまでもございません。運賃が高い背景には親会社京成にとって著しく有利な仕組み(線路使用料契約等)があります。それは企業が守るべき「公正競争・適正取引」(経団連の企業行動憲章)に反し、独占禁止法が規制する「優越的地位の濫用」にほかならず、その不合理性は驚くほど酷いものです。それが問題にならないのは親会社・子会社の経営陣が一体であるからで、この不公正をただすのは、関係自治体が「物言う株主」として、住民の願いを代弁していただかなくてはなりません。

尚付言すれば、北総線は成田スカイアクセスの重要な構成部分ですが、一国の重要な国際空港アクセス線が、こうした不公正・不合理な土台のうえに組み立てられており、沿線住民に高運賃を強い、その犠牲によって運行されている不当な仕組みは抜本的に再構築されなければなりません。

これらを指摘し是正を求めていただきたく、よろしくお願い致します。

詳細は同封資料に譲りますが、主な内容は以下の通りです。

- 1、 京成電鉄が北総鉄道に負担を押し付けている問題
  - ① 京成電鉄は北総鉄道の線路上を走っても、線路使用料を実質的に負担していない
  - ② アクセス特急停車駅での乗客の乗り替わり分を京成が収受してしまっている
  - ③ 北総の路線維持に係る費用を京成が負担していない
- 2、 千葉ニューエクスプレス区間の線路使用料が著しく不公正な問題
  - ・現状(H28年度)は、北総/京成=26億円/4億円であるが、走行車両数はほぼ同じですから、線路使用料も折半とすべきです。
- 3、 運賃体系がメタボ型である問題
  - ・北総線の運賃カーブは、近距離運賃が極端に高く、遠距離ではそうでもありません。これが沿線住民の負担を大きくしています。沿線住民負担の大きいメタボ型運賃体系から、距離比例型に改めてもらいたいのです。

以上